

## 平成16年度鳥取市政懇話会第1回「地域づくり部会」議事要旨

日時：平成17年1月27日（木）  
午後4時20分～5時20分  
場所：市役所駅南庁舎地下会議室

### 出席者

【委員】乾委員、下石委員、神部委員、木村肇委員、田中委員、谷口委員、西尾委員、畑山委員、八村委員、久本委員、福島委員

欠席委員：三田委員

【鳥取市】竹内市長、谷口総務部長、山根企画調整監、綾木都市整備部長、小田環境下水道部長

### 1. 開 会

### 2. 自己紹介

### 3. 部会長の選出

事務局から部会長候補として木村肇氏を提案し承認。副部会長の選任は、部会長に一任し次回部会で報告する。

### 4. 議 事

(1) 部会の進め方について資料に基づき事務局から説明

(2) 市の現状・課題の報告について、市長から17年度に協議したいということで、今回は説明しないこととした。

(3) 意見交換（発言内容等について、事務局で一部加筆訂正しています。）

委員 7次総と8次総の違いは合併が大きな要因です。（7次総にはない）大きな見直し、変革を期待しています。

委員 合併した町村はサービスが維持されたが、単独は（サービスが）低下した例がテレビに出ていました。まちづくり計画をベースにして8次総が出来るが、あれもこれもではなく選別も必要になり、（8次総策定に向けた）動き方も難しいという感じがします。

委員 まちづくり計画は出来たが以前からの鳥取市民は熱心ではないようです。

竹内市長 合併後の新鳥取市としての最初の総合計画であるということ、それから、新市まちづくり計画で示したものを具体化する整理が必要であると思います。確かに新市まちづくり計画に対して、元の鳥取市と合併した地域に温度差みたいなものがあったと思われるので、その新市まちづくり計画から8次総に移る際に、みんなの気持ちをついにし、共通認識を作っていくことが大切だと思います。新市まちづくり計画というのは、ある意味では行政内部及び合併協議会の場で文言を作ったものであり、既存の総合計画に柱を立てながら新たに魂を込めて、8次総というものになってくると思います。7次総から引き継いだ8次総ではなくて、合併後の鳥取市の第1次総合計画という理解の仕方もあります。ここからがスタートラインであると。実際に私の気持ちから言うと、私自身にとっても初めての総合計画でもあり、本心のところも新市まちづくり計画をもとに新たに組み立てる計画であるという感じもあります。とはいうものの、7次総の総括というのは必要であり、それは合併が行われたことと、も

う一つは、三位一体改革を含めて財政状態がかなり厳しくなっていることです。この7次総を総括しつつ、大事な2つのポイントを8次総に対応させて作っていく。なお、8次総の中で一番大きな状況変化として考えられるのは、高速道路の整備ですね。

委員 新市まちづくり計画で示された各論的なものは実行していただかなければなりません。新市の一体性、合併した鳥取市は何を目指すのか、市民の展望や他のまちと違うものを作る議論が必要です。3か月でどこまで議論できるでしょうか？

委員 各地域が権益を主張してはいけません。新市の一体性の中で共通部分を認識して誤解のないようにすべきです。

委員 金田市長の時代から20万都市構想があり、このたびの合併で背景は違う（当時は少子化という概念がなかった。）が実現しました。「人が輝きまちがきらめく快適・環境都市」という目指すものは前も同じだと思います。鳥取市民はずっと同じものを持っています。

委員 合併の一つの大きな流れとして行財政の効率化が先行し、当初鳥取市は、新市まちづくり、20万都市構想に目が向いていなかったようです。竹内市政になって20万都市を目標にしました。

竹内市長 当時とは事情が違います。新市まちづくりについて、新しい体制の中での絞って議論すべきです。

委員 17年度予算編成の最中のようなようです。合併協の新市まちづくり計画に基づき予算編成されるようですが、各町村の総合計画から新市まちづくり計画が出来ました。これから行財政改革が厳しくなりますが、その中で、計画がどの程度進むか注目しています。8次総は新市まちづくり計画が土台なので、それを基に作っていただきたい。

山根企画調整監 8次総は7次総を引き継ぐだけではありません。8町村のそれぞれの総合計画をふまえて作ります。その8町村の総合計画を引き継いだものが新市まちづくり計画であり、そういう経過を十分踏まえて作るものであると考えます。

委員 皆さん、合併協議会に関わった人ばかりですが、私は、次回協議をする場合に、何か新市まちづくり計画の資料的なものを出していただき理解することが必要だと思います。

竹内市長 新市まちづくり計画の中味が8次総の大もととしてあり、7次総より重要度から行けば新市まちづくり計画になると思います。8次総の各論よりは、向う5年間の方向付け、基本方針的なものをこの地域づくり部会でいくつか抽出し、共通項として今後の計画づくりの素案に資するようになっていくことがよいと思います。新市まちづくり計画の内容なり資料の説明が必要だというのはもっともです。

委員 次回で基本的に報告すべき事項を決めるとなると、新市まちづくり計画について基本認識をお互いに共有することは大切ですが、それだけで時間が終わります。基礎的な資料は早めに届けていただき、同時に、地域づくり部会で8次総のどの部分を検討して方向付けしたらよいか（委員では）語りきれないので、他の部会と重複しないよう事務局で整理してもらい、次回で検討するというところでどうでしょうか。

それから、我々は8次総について一つの方向付けをする委員ではないと思

います。市政懇話会という立場で市政に参画する、意見を申し上げることで、その中でたまたま、今の時期が8次総に関わる時期であり、それについて提言が欲しいと言われているわけですから、我々もその辺を整理しながら、8次総を全面的に理解したうえで提言しなければならないと難しく考えないで、平易な形でものが言える、気楽に意見交換するということでもいいと思います。

委員 我々の地域づくり部会での一つの議論として新しい合併を踏まえたアイデンティティーのようなものを議論してはどうでしょうか。例えば、鹿野、浜村温泉や吉岡温泉に着目しての新市地域住民の連携。あるいは、先の豊岡大水害、新潟の震災を見ると、危機管理、災害に強いまちづくりも議論していく一つになると思います。地域地域ではなく、全体として新しいアイデンティティーづくりの議論が面白いではないでしょうか。

委員 鳥取はどんなまちかイメージしていく、それぞれ意見を言っていたことはどうでしょうか。鳥取市の未来はどういう方向をめざすのか、総括的に話すのが地域づくり部会ではないかと思います。

委員 大きなイメージで個々を作る。松江は、「水」をキーワードにしています。鳥取にもそういうまとめたものができるかどうか。

竹内市長 キーワード的に言えば、「環境」というキーワードを総合計画のなかにどう位置づけるか。鳥取の地域は「環境」をキーワードに今後展開していくのにふさわしいと考えます。新市まちづくり計画にも「快適環境都市」ということも出てきます。エネルギー問題、ごみ問題、自然環境なども大きな関心事であり大事だと痛感しています。

委員 部会長と事務局で今日の議論を踏まえ、次回にどういう方向で議論するか決めて下さい。

## 5 . 閉会